



2025年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年8月14日

上場会社名 株式会社アミファ 上場取引所 東
コード番号 7800 URL <https://www.amifa.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 藤井 倫三
問合せ先責任者（役職名） 経理部長（氏名） 堀内 亨 TEL 03（6432）9500
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第3四半期の業績（2024年10月1日～2025年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年9月期第3四半期	6,790	1.0	172	—	144	—	76	—
2024年9月期第3四半期	6,720	5.7	△87	—	△105	—	△72	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第3四半期	25.24	—
2024年9月期第3四半期	△24.12	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年9月期第3四半期	3,287	1,984	60.4
2024年9月期	3,809	1,883	49.4

（参考）自己資本 2025年9月期第3四半期 1,984百万円 2024年9月期 1,883百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2025年9月期	—	0.00	—		
2025年9月期（予想）				24.00	24.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	8,690	1.0	115	—	85	—	30	—	9.94

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料 6 ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年9月期3Q	3,235,000株	2024年9月期	3,235,000株
② 期末自己株式数	2025年9月期3Q	216,439株	2024年9月期	216,439株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年9月期3Q	3,018,561株	2024年9月期3Q	3,012,712株

- ※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無
法人によるレビュー

- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(第3四半期累計期間)	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加などにより緩やかな回復基調での動きがみられる一方で、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども景気を下押しするリスクとなっており、また、米国の通商政策の動向、中国経済の先行き懸念などから、景気の先行きの不透明感は増しております。

こうした環境下、当社は、クリスマス、バレンタインなどのイベントをはじめ、新企画や新商品の提案に積極的に取り組み、主要顧客である100円ショップ各社に向けてライフスタイル雑貨の販売に注力した結果、前年同期を上回る実績を達成しました。また、損益につきましては、円安環境が継続する中でも売場提案力の強化や売れ筋商品の集中などによる販売と継続した原価低減、また、販売費及び一般管理費の削減により、前年同期を大きく上回る結果となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績の概要は以下の通りであります。

(千円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
当第3四半期累計期間	6,790,448	172,668	144,301	76,179
前第3四半期累計期間	6,720,083	△87,284	△105,311	△72,665
増減額	70,365	259,953	249,613	148,844
増減率(%)	1.0	—	—	—

売上高は、前年同期比70,365千円増(1.0%増)の6,790,448千円となりました。

これは、クリスマス、バレンタインなどのイベント関連商品の販売が前年同期をやや上回る水準で進捗したこと、前期から引き続き、ライフスタイル雑貨等の販売が好調に推移したことによるものです。

なお、当第3四半期累計期間におけるライフスタイル雑貨の商品群別累計売上高は、下表の通り、「ワンプライス商品」が6,280,698千円(前年同期比1.2%減)と前年同期に比較し減少したものの、「プチプライス商品」が509,750千円(前年同期比41.3%増)と前年同期に比較し大幅に増収となりました。

(千円)

	ワンプライス商品	プチプライス商品	合計
当第3四半期累計期間	6,280,698	509,750	6,790,448
前第3四半期累計期間	6,359,355	360,727	6,720,083
増減額	△78,657	149,022	70,365
増減率(%)	△1.2	41.3	1.0

営業利益は、前年同期比259,953千円増の172,668千円となりました。

これは、売上高増加による増益効果に加え、円安環境が継続する中でも売場提案力の強化や売れ筋商品の集中などによる販売と継続した原価低減、また、販売費及び一般管理費の削減により、前年同期を大きく上回りました。

経常利益は、前年同期比249,613千円増の144,301千円となりました。

営業外収支は、前年同期には為替差損13,819千円を計上しましたが、当第3四半期累計期間は為替差損22,809千円と増加したことにより、経常利益の増益幅は営業利益の増益幅に比べ縮小しました。

以上の結果、四半期純利益は、前年同期比148,844千円増の76,179千円となりました。

なお、当社の事業は、ライフスタイル雑貨事業の単一セグメントであるため、セグメントの記載をしておりません。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期会計期間末における流動資産は3,099,060千円となり、前事業年度末に比べ454,127千円減少いたしました。これは主に現預金が235,884千円増加しましたが、受取手形及び売掛金が45,936千円減少、棚卸資産が605,055千円減少したことによるものです。固定資産は188,455千円となり、前事業年度末に比べ67,467千円減少いたしました。これは主に投資その他の資産が52,117千円減少したことによるものです。

この結果、総資産は、3,287,515千円となり、前事業年度末に比べ521,594千円減少いたしました。

（負債）

当第3四半期会計期間末における流動負債は760,190千円となり、前事業年度末に比べ575,138千円減少いたしました。これは主に買掛金が93,539千円減少、短期借入金が300,000千円減少、未払金が94,844千円減少、流動負債その他が135,843千円減少したことによるものです。固定負債は543,154千円となり、前事業年度末に比べ47,150千円減少いたしました。これは主に長期借入金が49,699千円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は、1,303,344千円となり、前事業年度末に比べ622,289千円減少いたしました。

（純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産合計は1,984,170千円となり、前事業年度末に比べ100,694千円増加いたしました。これは主に四半期純利益76,179千円に加え、配当金支払72,445千円により利益剰余金が3,733千円増加、繰延ヘッジ損益が96,960千円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末に比べて11.0ポイント上昇し、60.4%となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の通期業績予想につきましては、当第3四半期累計期間の実績を踏まえ、2024年11月14日に公表しました通期業績予想を達成することが困難と判断し、業績予想を下方修正いたしました。

詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想値の修正に関するお知らせ」を御覧ください。

なお、配当につきましては、24円/株の配当予定に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	719,071	954,956
受取手形及び売掛金	675,099	629,162
電子記録債権	4,394	12,568
棚卸資産	2,056,949	1,451,893
その他	97,673	50,639
貸倒引当金	—	△160
流動資産合計	3,553,187	3,099,060
固定資産		
有形固定資産	35,311	35,752
無形固定資産	73,212	57,420
投資その他の資産	147,399	95,281
固定資産合計	255,922	188,455
資産合計	3,809,110	3,287,515
負債の部		
流動負債		
買掛金	167,683	74,143
短期借入金	300,000	—
1年内返済予定の長期借入金	199,599	199,599
未払金	435,892	341,047
未払法人税等	265	68,096
賞与引当金	18,742	—
その他	213,145	77,302
流動負債合計	1,335,328	760,190
固定負債		
長期借入金	300,666	250,966
退職給付引当金	35,303	37,852
役員長期未払金	254,335	254,335
固定負債合計	590,305	543,154
負債合計	1,925,634	1,303,344
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,220	37,220
資本剰余金	273,586	273,586
利益剰余金	1,835,707	1,839,440
自己株式	△141,766	△141,766
株主資本合計	2,004,746	2,008,480
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△121,270	△24,309
評価・換算差額等合計	△121,270	△24,309
純資産合計	1,883,476	1,984,170
負債純資産合計	3,809,110	3,287,515

（2）四半期損益計算書
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 2023年10月1日 至 2024年6月30日）	当第3四半期累計期間 （自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）
売上高	6,720,083	6,790,448
売上原価	4,682,565	4,649,752
売上総利益	2,037,517	2,140,696
販売費及び一般管理費	2,124,801	1,968,027
営業利益又は営業損失（△）	△87,284	172,668
営業外収益		
受取利息	2	173
助成金収入	871	—
受取補償金	548	28
還付加算金	411	166
受取ロイヤリティー	—	1,200
その他	19	124
営業外収益合計	1,852	1,693
営業外費用		
支払利息	4,571	5,369
為替差損	13,819	22,809
固定資産除却損	—	37
その他	1,489	1,843
営業外費用合計	19,879	30,060
経常利益又は経常損失（△）	△105,311	144,301
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△105,311	144,301
法人税等	△32,646	68,122
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△72,665	76,179

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、ライフスタイル雑貨事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	24,413千円	25,673千円